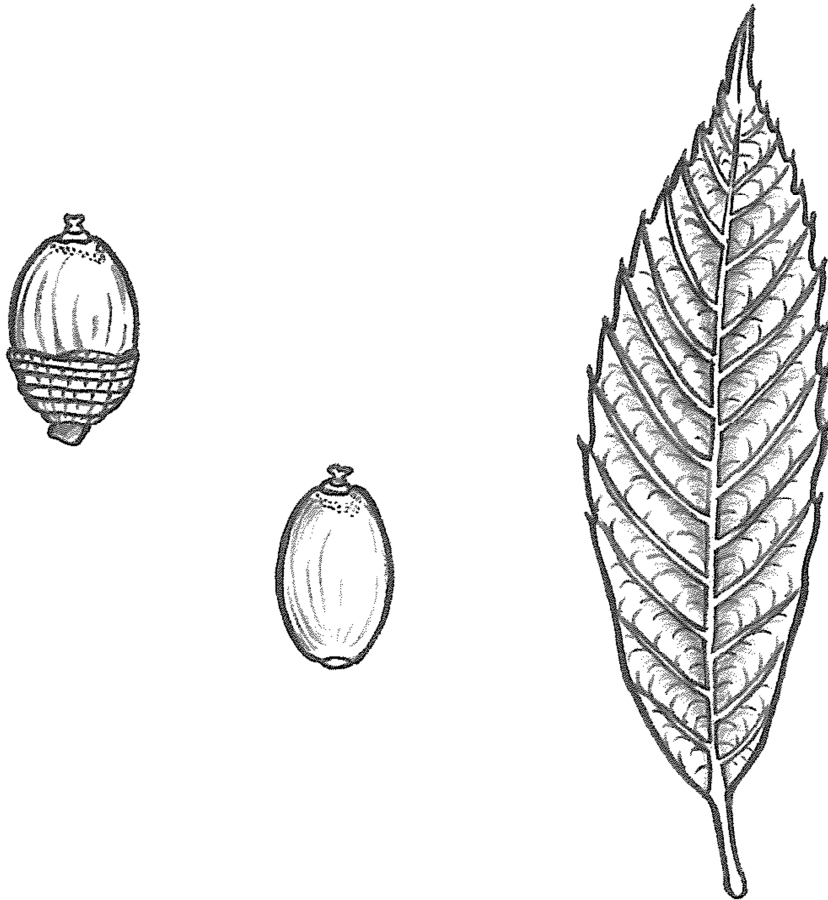


# 1 1 【シラカシ】 白欐 別名：ホソバガシ（細葉欐）



常緑 1年成り

カシは木が堅いという意味で漢字で欐と書く。頑丈な木材は、建築の骨組みや木刀に使われる。シラカシの木材は、アカガシよりも白いのが名前の由来。寒さに強く、関東地方でよく目にする。一つの殻斗に2, 3個のドングリが入っているのをみかける。

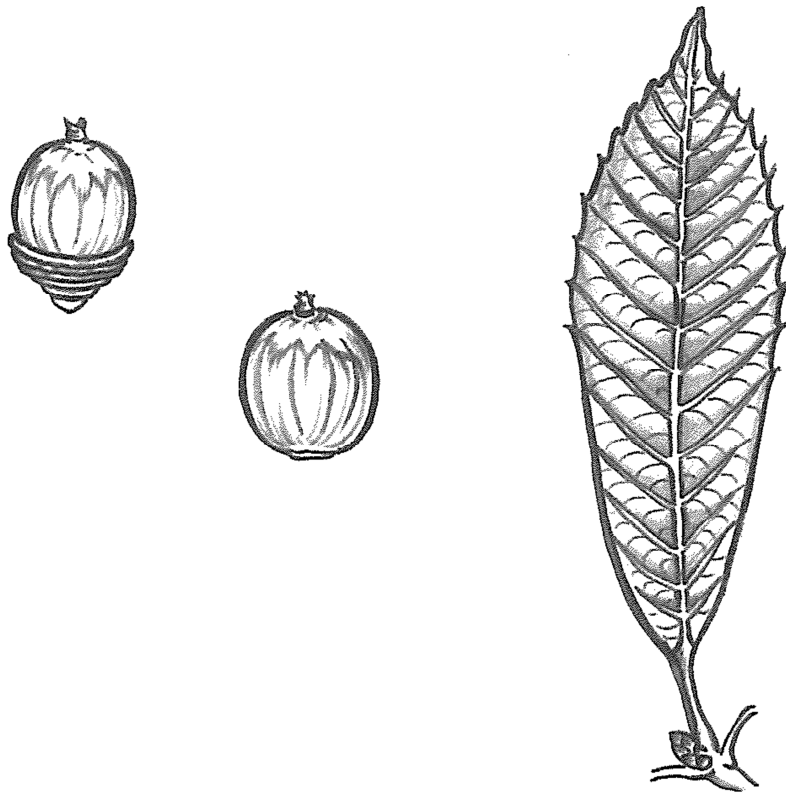
ドングリ：殻斗はおわん型で、輪を積み重ねたようになっている。上部にかけて細かな毛がはえている。

葉：細長くて、縁のぎざぎざ（鋸歯）は目立たない小さなものが多い。裏側は成長すると毛がない（灰緑色）。

木：灰黒色。ざらつく。割れ目はない。

## 1 2 【イチイガシ】 一位櫨

別名：イチガシ（一櫨）



常緑 1年成り

櫨の仲間で、よく燃える木を意味する、最火（いちひ）の木からこの名がついた。背の高さが一位なので名前の由来という説もある。

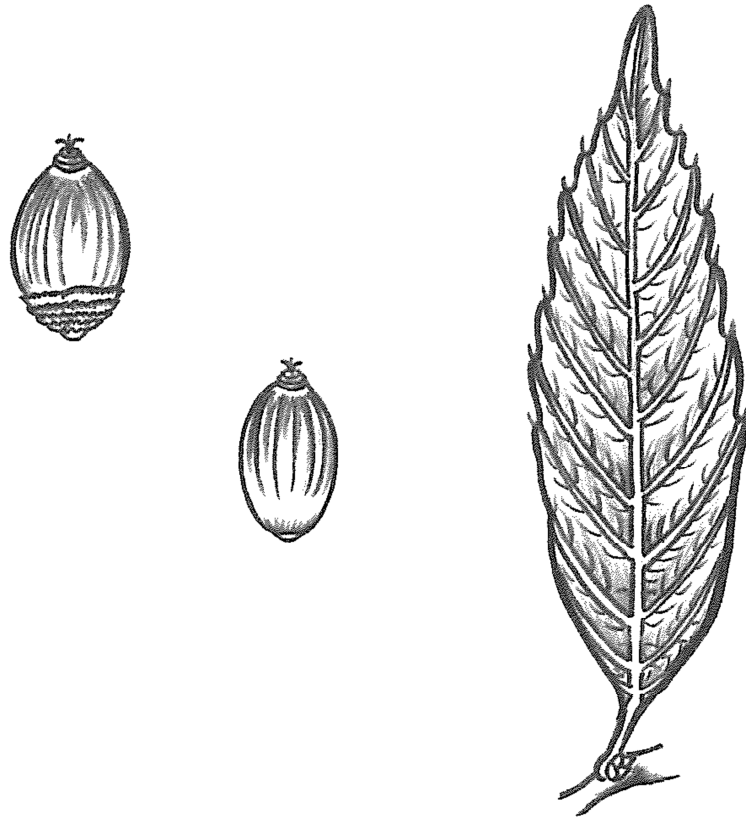
ドングリ：実には、茶入りと黄色のたてじまや、上の部分に  
びっしりとこまかい黄土色の毛がある。渋みが  
少なく、生でも食べられる。

葉：やや厚くて、裏側と葉柄には黄褐色の毛がびっしりとあ  
る。

木：黒褐色～灰黒色。樹皮は成長するにしたがい、ぼろぼろ  
にはがれる。

### 1 3 【ウラジロガシ】 裏白櫨

別名：ホソバガシ（細葉櫨）



常緑 2年成り

カシの仲間で、葉の裏側が特に、白いことから。若葉だとこの白さが目立たないこともある。枯れ葉の裏側はどれも真っ白である。

ドングリ：シラカシやアラカシとよく似ている。花柱（ドングリの先っちょのつきでたもの）がとても細くて折れやすい。地面に落ちたドングリには花柱がないものが多い。殻斗には、短毛がある。

葉：裏側ははじめ絹毛があるが、あとはロウ質を分泌するので粉白色。細長くて、全体にうねりがあるものが多い。上2/3部にややするとい浅いぎざぎざ（鋸歯）がある。

木：灰黒色。なめらか。